

# 令和8年通常選挙 支部区域毎の社員(広島県)

## 選挙公報【詳細版】

### ●支部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 広島県 )

- ①コールサイン : JM4HTF  
②氏名(フリガナ) : ウエダ ユウスケ  
上田 悠介  
③年齢 : 47歳  
④職業 : 会社員  
⑤無線従事者資格 : 第三級アマチュア無線技師士

#### 力を入れている無線活動

- ・ JR4VN(アナログレピータ)管理
- ・ JP4YEB(D-STAR)管理支援
- ・ オンエアで未来を作る  
初心者のCQに回答に心がけ、マウントを取らない「楽しそうな局」にいる

#### 支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

私が目指す広島県支部の姿

1. 初心者・新免許者が「居場所」を見つけられる支部  
免許を取ったあと、  
「何をすればいいのかわからない」「聞ける人がいない」  
この状態が、最大の離脱要因です。  
私は支部として、
  - ・ 初心者が参加しやすい運用・行事の明確化
  - ・ 経験者が“教える側”として自然に関われる空気づくり
  - ・ 年齢・運用スタイルを問わず話せる場の整備を進め、免許取得がゴールにならない支部を目指します。
2. 防災・非常通信を「実態のある活動」に  
アマチュア無線の社会的意義として、防災・非常通信は欠かせません。  
しかし、それが形骸化してしまっただけでは意味がありません。
  - ・ 訓練が「参加者の自己満足」で終わらないこと
  - ・ 行政・地域と現実的に連携できる形を探ること
  - ・ 平時の運用が非常時につながる設計これらを意識し、  
広島県支部として“語れる実績”を積み重ねる活動を推進します。
3. 多様なアマチュア無線の楽しみ方を認める支部  
DX、コンテスト、移動運用、デジタル、QRP、自作  
どれも正解ということはありません。  
私は、
  - ・ 特定の運用スタイルに偏らない
  - ・ 新しい技術や考え方を頭ごなしに否定しない
  - ・ 「違い」を排除せず、共存させるそんな懐の深い支部運営を心がけます。

#### 社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

JARL社員は、要望を出すだけの立場ではありません。  
会員の声をくみ取り、責任をもってJARLに届ける役割だと考えています。

- ・ 感情論ではなく、現場に基づいた提案を行う
- ・ 会費の使い道について関心を持ち、有効利用に努める

この姿勢を貫きます。

アマチュア無線は、  
守られるだけの文化ではなく、  
関わる人一人ひとりが育てていく文化です。

私は、  
「昔は良かった」と言い続ける立場ではなく、  
10年後に『続いている良かった』と言える状態を作る側でありたい。  
そのために、  
皆さまと共に考え、動いていく覚悟です。